

令和 3 年 度

第 2 回太宰府市総合教育会議
議事要旨

令和 4 年 3 月 22 日

令和3年度第2回総合教育会議

1 開会及び閉会に関する事項

- 1 日 時 令和4年3月22日（火）
午後3時30分開会
午後4時21分閉会
- 2 場 所 太宰府市役所 庁議室

2 出席者

市 長	楠 田 大 蔵
教 育 長	樋 田 京 子
教 育 委 員	野 中 秀 典
教 育 委 員	武 藤 佳 穂 里
教 育 委 員	桑 野 裕 文
教 育 委 員	日 下 部 寛 行

3 事務局

市 長 部 局：清水副市長、山浦総務部長、村田総務部経営企画担当理事、
佐藤経営企画課長、宮原企画政策係長、神田主任主事

教育委員会部局：藤井教育部長、堀教育部理事、添田社会教育課長、山村教
務（人権・同和教育担当）係長、立石主任主査

4 議事

- (1) 令和4年度太宰府市教育施策要綱（案）の報告について
- (2) 令和4年度施政方針に掲げる教育施策について

5 概要

<市長あいさつ>

- ◆ 令和4年度施政方針の中で当初予算として、2期目公約である「令和の都さらに羽ばたく太宰府～課題解決先進都市を目指して～」に徹底的にこだわりながら、その初年度としてスタートダッシュを図るべく、コロナ禍を力強く乗り越え、令和の都として太宰府をさらに羽ばたかせるための積極的投資を行う「市制40周年未来チャレンジ予算」と銘打ち、過去最大であった昨年度をさらに1割以上も大幅に上回る290億円規模とした。
- ◆ 引き続きまず対峙しなければならないのは、やはり新型コロナウイルスであり、子どもたちへの接種も含むワクチン接種に関する費用をはじめ、小中学校での感染拡大防止のためのスクールサポートスタッフの配置やICT教育環境の充実、図書館機能の充実、地区公民館の感染症対策に関する費用などを計上している。
- ◆ このほかにも教育施策として、中学校完全給食実現に向けた取組をはじめ、水城小学校管理棟ほか改築工事、オンライン家庭学習環境の整備、地域学校協働活動の推進、不登校児童生徒支援の推進、太宰府跡整備基本計画策定、日本遺産「西の都」広域連携の推進などを実施することとしている。
- ◆ また長引くコロナ禍にとどまらず、今なお頻発する地震やウクライナでの惨劇など衝撃的な出来事が続き不安やストレスがますます高まる中、不確かで正解のない未来に向けて次代を担う子どもたちがどのように生き抜くかという観点などからも、大局に立った教育大綱の改正に取り組むことも必要だと考えている。

議事（1）令和4年度太宰府市教育施策要綱（案）の報告について

<教育長説明>

- ◆ 令和4年度太宰府市の教育施策要綱（案）については、前回の総合教育会議において市長と教育委員会で意見交換ができた。その際の意見も踏まえ、教育委員会事務局で最終的な検討を行い、教育関係の事業が少しでもわかりやすいように写真等を工夫して挿入したり、文言等を修正した。3月24日に開催する教育委員会で最終審議を行う予定としている。

議事（2）令和4年度施政方針に掲げる教育施策について

<市長説明>

- ◆ コロナ関連として、ワクチン接種やスクールサポートスタッフの配置、ICT教育環境の充実、図書館機能の充実、地区公民館の感染症対策などを予算に組み込んでいる。
- ◆ 太宰府の底力総発揮構想の中で公約として、規制が緩和され、維持・保存だけではなく、税収、経済効果を高めていくという文化財の新しい形を追い求める「梅」プロジェクトの推進や、世界に羽ばたく人材育成を掲げている。具体的項目としては「梅」プロジェクトを生かした地場みやげ産業の創出、芸術コースを持っている高校、大学との積極的な連携、また宗教法人、学校法人、九州国立博物館、太宰府天満宮はじめ、様々な特徴ある団体と積極的に連携をしていく。またウクライナの件でも、クラウドファンディングなどで活発に支援していく。

- ◆ 政策として一番大事な太宰府型全世代居場所と出番構想が最も教育分野に関わることで、公約として子育て・教育環境の充実、そして全世代交流拠点の創設などを掲げている。具体的項目としては中学校完全給食実現に向けた取組、水城小学校管理棟他改築工事、太宰府東小学校の防水・外壁改修工事、オンライン家庭学習環境の整備、小・中学校大型提示装置の整備、地域学校協働活動の推進、バリアフリー化の推進、不登校児童生徒支援の推進、巡回ラジオ体操・みんなの体操会などを挙げている。
- ◆ 令和発祥の都にふさわしい大太宰府構想の中で公約として、令和国際文化会議の開催、史跡の先進的多用途活用、国・県・自治体の広域連携として「西の都」を生かすことを掲げている。具体的項目としては大宰府跡整備基本計画の策定や文化財3D複製資料の製作、また国・県・国内外自治体との連携の推進、また姉妹都市・友好都市交流の活性化、交流人口・関係人口の拡大、そして太宰府市応援団の創設などを挙げている。
- ◆ コロナ禍や、社会環境、社会情勢が混迷する中で、子どもたちに様々な影響があると考えられるため、そのような中でも伸び伸びと育ててもらえるように、世界のこのような動向を教訓として世界に羽ばたけるような人材育成や、全員が取り残されるようなことがないような様々な取組を行っていききたい。
- ◆ 臨時特別給付金対象外世帯への子育て応援キットの配布や、文化団体の文化事業の支援、市民図書館のトイレの手洗い場の自動水洗化なども計上している。

<質問・意見>

【待機児童】

- ◆ 待機児童の問題は、保育所に預けたい親が増加する可能性もあるため一概には言えないが、令和5年度までにゼロになることを見込んで計画を立てている。

【中学校完全給食】

- ◆ 子どもたちに提供するパンに国内産小麦を使用するのが全国的な流れとしてあるので太宰府市もお願いしたい。一番良いのは県内小麦の使用で、地元の農家を支えることもでき、休耕地の活用にもつながるのでは。

【国際交流】

- ◆ 姉妹都市・友好都市交流の活性化については、多賀城市との子ども使節団や大韓民国のペクチェ初等学校との直接交流など非常に活発な交流が行われており、さらに世代を超えた交流が進めば、太宰府を再認識するよい機会になるものと感じた。

【文化振興】

- ◆ ルネサンス宣言に基づく文化事業については、もともと存在していた高齢化や担い手不足といった諸課題とコロナによる新しい生活様式も加わり、活動の縮小傾向が続いている。市制施行40周年という節目の年にあたり、こうした諸課題や今後の文化振興の在り方を新たな審議会等を立ち上げ大いに議論すべきでは。

【コミュニティ・スクール】

- ◆ コミュニティ・スクールをうまく運用すれば、学校の先生方の負担を解消できるのではないか。

【働き方改革】

- ◆ 中学校の部活動における先生方の働き方改革については、太宰府市ならではの取組ができないかなと考えている。

【その他】

- ◆ 世界に羽ばたく人材育成も、取り残される子どもがいないということも大事であり、個人の生き方が尊重されるべき。才能を摘み取ることは避けたい。
- ◆ 世界に羽ばたく人材育成や行財政改革、新しい公共については、来年度以降のビジョン会議で外部の方にも入っていただき、民間の方々の具体的な意見もお伺いしながら進めていきたいと考えている。
- ◆ 今年の卒業生は2年間コロナに翻弄された児童生徒であり、さらに学習指導要領の改訂、実施と重なっている。改めて太宰府市の子どもたちはすばらしく、太宰府市が行っている学校の先生方並びに保護者の方、地域と一緒に頑張ってつくり上げる教育が実を結んできているのでは。
- ◆ パンデミック収束後に、子どもたちが安心して学校で学べるような、自己肯定感を高められるような取組を早急に始める必要があるのでは。
- ◆ アフターコロナに向かって良い事例があれば無駄なものはカットしていった良いのでは。